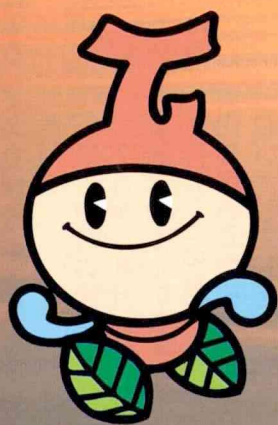


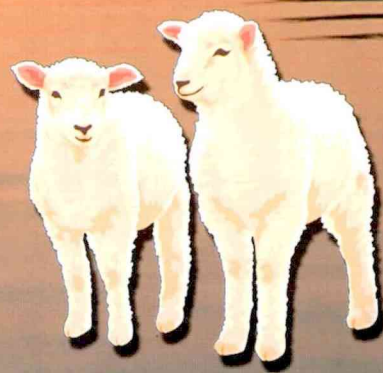


たしろ

2003年 謹賀新年



ぼく でんしろう です



No.588 新年号

平成15年1月1日発行

田代町役場企画管財課編集
ホームページアドレス <http://www.town.tashiro.kagoshima.jp>

肝属郡田代町麓827番地1

2003年 あけまして

田代町議会議長
瀬 口 勝

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、心新たに希望を持って新年を迎えになったこととお慶び申し上げます。
昨年中は、皆様方の力強いご支援により、議会活動に専念できましたことに對し、心から感謝し改めて厚く御礼申し上げます。
21世紀の扉も開かれ、3年目を迎えた今日、国の内外ともに大きな変革の時期に遭遇しておりますが、地方行政におきましても過疎、少子高齢化、情報化の進展、地方分権、さらには市町村合併等々、未だかつて経験したことのない新たな事態に日々直面し、これまた行政の真価が問われる時代となつてまいりました。
なかでも、市町村合併は喫緊の課題であります。
町においては、集落座談会やアンケート調査を行い町民の意向を調査した上で今後の方針を決定しようと懸命に努力しております。
市町村合併は好むと好まざるとにかかわらず、全国規模で大きなうねりが押し寄せて来ております。

合併の必要性としては、
◎市町村行政の広域的展開
◎地方分権の推進
◎少子高齢化の進行への対応、等挙げられておりますが、一番の要因は、
◎国、県、地方を通じた厳しい財政状況への対応であります。
高度経済成長時代が終焉し、デフレ時代が到来、長引く不況での日本経済も昨年中盤には「底を打った」といわれておりましたが、相次ぐ企業、商社及び政・官界の不祥事により、更に混迷の度が深まっていくところでありまして、今後日本経済の発展が見込めない状況の中で、財源の確保が出来ない以上、自主財源の乏しい本町にとって、市町村合併はさけて通れない道筋となっております。
豊かな自然、純朴で温厚な町民性、特色のある田代町を残すことができればそれに越したことはございませんが、更なる地域の発展と住民の幸せを考えると好むところではございませんが、合併は最善の選択肢のひとつであろうと思っております。
鹿児島県は、合併パターンを2市9町か10町、または南隅4ヶ町ということで示して

おりますが、広域的合併の場合、現段階ではあまりにも温度差があり過ぎて、実現不可能ではないかという声が大であります。
いずれにいたしましても各町間で真剣に協議されておりますのでそれを見守り当局から方針が示された暁には、皆様方にもご理解とご協力をいただきますようお願いしております。
さて、内外の政治経済、社会情勢は、ことほど左様に依然として厳しいものがありまして、本年も町民の皆様への負託とご期待に添うべく、年の初めに志した計画、信念に基づいて懸命に努力してまいります。
ところで、町内の経済情勢は、これまで厳しさが増幅しておりますが、商工業の衰退はいうに及ばず、農林業においても野菜を始め茶、たばこ、畜産、林産物に至るまで、ありとあらゆる産品が、産地間競争や国際競争の嵐の中で低迷を続けており、夢も希望も持てない状況であります。
とりわけ肉用牛において、BSEにまつわる国の買収制度を悪用した偽装が、また、ブロイラーや肉豚においても産地偽装が行われ、潰滅的打撃を受けましたが、生産



おめでとうございます

田代町長
前之園 良 輝

新年明けましておめでとうございます。
町民各位におかれましては、輝かしい平成15年の新春を、家族おそろいで健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は町政運営全般にわたり、温かいご理解と多大なご尽力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。
さて、今、世界中では一昨年の米中核同時テロ以来、テロ事件が多発いたしておりますが、「問答無用の暴力」によるテロ行為は、いかなる理由があるにしろ絶対に許されるべきでなく、誠に遺憾に思っているところでございます。
さらに、イラク、北朝鮮問題等不穏な動きもあり、今後の動向に注目しながらも、世界の平和を願わずにはいられない気持ちであります。
また、私共の日本におきましては、長引く景気の低迷による企業の倒産、リストラ、雇用不安、失業率の上昇等、日本経済は大変厳しい時代を迎えています。一昨年の9月30日に小泉改造内閣が発足し、経済運営では今までの政策を転換する姿勢が表明され、今後の日本経済の回復、活性化に期待するところであります。

本町におきましては、数個の台風が接近、襲来いたしましたが大きな被害、事故もなく平穏な一年であったことを町民の皆様とお慶びをいたしたいと存じます。
しかしお茶、たばこ、早期水稲、園芸作物等農林産物の生産販売額は、目標達成ができず非常に残念なことでありましたが、BSE、鶏肉偽装事件等の逆風の中でブロイラー、肉用牛の販売については、平年を上回る実績を残せたところであり、特に肉用牛においては、5年に1回開催される「和牛のオリンピック」といわれ、ます岐阜県で開催された「第8回全国和牛能力共進会」で西中郡集落の上久保文夫さん所有の「いちふじ8号」が最優秀賞第一席農林水産大臣賞を受賞され、繁殖雌牛群第6区の部で「日本一」の栄冠を獲得されました。
また、秋に行われた鹿児島県畜産共進会では岩崎集落の折小野満次さん所有の「第9かつこ号」が繁殖雌牛群第5区の部で最優秀賞を受賞されました。このことは、田代町の名誉であり、本町の畜産振興の起爆剤になったと大変嬉ばしく思い、受賞されたお二人はもとより町内畜産農家の

皆様の今までのご精進の賜物であり、深甚の敬意を表する次第であります。
また、日本では、人生80年を迎えたいといわれますが、実りある豊かな人生であるためには、「健康」でなければなりません。そのためには、自分の健康は自分で守ることが基本であり、大鉄則であります。本町では、各種保険事業を導入し町民の皆様の健康を守るため、病気の早期発見・早期治療に努力しています。また、少しでも多くの幸せを実感できるよう生き甲斐を持つて生活するために、一生涯学び続けていく生涯学習に取り組むことも大事なことであり、いつでも、どこでも、誰でも、何でも学べる中央公民館講座を開講しています。町民の皆様が健康診査の受診、生涯学習の機会に積極的に参加していただきますことをお願いいたします。
また、市町村合併の問題ですが、国、県は、平成16年度末の合併特例法の期限を目前にして、強力に合併を進めていく方針であり、本町では、合併は将来の田代町の姿を決める重大な問題であり、合併の主役は住民の皆様であるとの考えのもとに取り組み、住民の皆様が的確な判断がで



るよう合併に対する住民説明会で情報を提供してきまして、
第1回目の説明会は、昨年の7月から8月にかけて町内6カ所で開催しアンケート調査も行い、その結果については、10月号の「広報たしろ」に掲載いたしました。
また、第2回目の説明会を11月に町内10カ所で開催し、最新の合併に対する情報と、今後における厳しい財政状況等について説明をしたところでもあります。再度のアンケート調査も行いましたので、その結果については「広報たしろ」等に今後掲載し町民の皆様にお知らせしてまいります。
今回行いました第2回目のアンケート調査の結果をふまえ、議会のご意見をお伺いし、合併に対しては最重点課題として、慎重に取り組んでまいります。
最後になりますが、本年も町民の皆様への町政に対するご理解とご協力、お力添えを賜りますことと、町民各位の益々のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。

者の努力と消費者の理解により、信用が回復しつつあり、明るい日差しが見え始めておりますので、あと、しばらくの間辛抱と努力を期待したいと思います。
最後になりましたが、人と町とが「生き生きと輝くまちづくり」のキャッチフレーズのもと、町発展のため、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げますと共に、町民の皆様が健康で幸多い年となりますようお祈り申し上げます。まして、年頭のごあいさつといたします。

祝 成人

成人になつて



大園 リエ

新年明けましておめでとうございます。

私は今、山梨県にある都留文科大学の社会学科に通い、哲学や環境、経済などについて学んでいます。

このたび、地元田代町での成人式に参加できることをうれしく思います。

現在、大学進学のため、親元を離れ、一人暮らしをしています。長期休みなどに田代町に帰ってくると、ほっとするのを感じます。

離れていると親のありがたさがよくわかるもので、こんなに遠い大学にまで出してもらい、両親には本当に感謝しています。



成人となった今、私自身何事にも目標を持ち、失敗を恐れずに様々なことに挑戦していきたいと思っています。

不況や凶悪犯罪など目まぐるしい世の中ですが、成人としての自覚を忘れずに自分を見失わずに行きたいです。

これからもっと多くのことを吸収して、2年後には一社会人として、社会に貢献できる人間になつていたいと思います。

最後に両親に一言、まだまだ未熟者ですがこれからも見守っていてください。

成人式を迎えるにあたって



亀割 譲太

私は、今年無事に成人式を迎えることができました。

成人式を迎えるにあたって、まずはこれまで私達を支えてくださった先生方、地域の方々、そして家族に感謝を述べたいと思います。

私は現在、大学生として宮崎で日々生活しています。学生というのは、経済上、完全に親から離れてひとりで生活しているわけではありませんが、それでも一人暮らしとなると、勉強に部活、アルバイトをしながら、炊事、洗濯、掃除をしていくのはとても大変です。父母が仕事をしながら、私達子供の分までやってくれたことを考えると、

いきたいと思います。



第54回人権週間

法務省と全国人権擁護委員連合会では、12月4日から10日まで「人権週間」として、広く国民に呼びかけ人権意識の普及を図っています。

本町でも12月4日、『一日人権擁護委員』として、町長が委嘱され、Aコープ田代店前で啓発活動を行い、併せて特設人権相談所の開設と登記相談を行いました。

今回の人権週間の強調事項は、次のようになっています。
■育てよう一人一人の人権意識、身近なことから人権を考えてみませんか。
■女性の地位を高めよう。
■子供の人権を守ろう。
■高齢者を大切にする心を育てよう。

障害のある人の完全参加と平等を実現しよう。
■部落差別をなくそう。
■アイヌの人々に対する理解を深めよう。

外国人の人権を尊重しよう。
■HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう。
■刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう。
■犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう。
■インターネットを悪用した人権侵害は止めよう。

性的指向を理由とする差別をなくそう。
人権週間にあたり、憲法の定める基本的人権尊重の精神を十分にかみしめて、これらの問題解決に努めたいものです。人権問題解決のため、鹿屋法務局と田代町では、人権擁護委員が相談を受け付けています。



田代町スタンプ会 ゲートボール大会

町民に地元で買物をしてもらうことを目的に、消費者へのサービスのひとつとして、第13回田代町スタンプ会杯兼第10回肝属地区スタンプ会旗ゲートボール田代町予選大会が、9月23日(月)に町中央運動場で開催されました。

この大会上位4チームは、10月9日(日)に内之浦町で行われた、肝属地区大会へ出場し大健闘いたしました。

スタンプ会では、今後もこのゲートボール大会を町民にもっとPRし、参加チームを増やし、各商店の販売促進、町の活性化を図りたいと加盟店一同張り切っています。



試合の結果は次の通りです。
優勝 北尾チーム
準優勝 馬場チーム
第3位 千成チーム
第4位 盤山チーム

ボランティア作業に汗

12月8日(日)、広域農道のボランティア作業を行いました。
この作業は、農業農村整備事業で整備された土地改良施設(今回は広域農道)について、農村地域の社会資本として位置づけ、各関係機関や土地改良区・地域住民が一体となって維持管理・運営等を行うことを目的としています。



当日は、小雨の降る中でしたが、郷ノ原集落民・辺志切集落民をはじめ、町内建設業者、建設課・経済課職員約100名の方々のボランティア作業により、広域農道は見違えるほどきれいになりました。

餅つき大会

12月16日(月)、田代幼稚園・川原保育園では、もちつき大会が行われました。
当日は雨のため、園庭では出来ませんでした。が、リズム室で、餅つきをしました。
ALTのファergusさんも園児と一緒に餅つきを体験していました。



キネでつく園児、餅を丸める園児、「よいしょ・よいしょ」とかけ声をかける園児。ウスとキネでつく餅とあって、おいしそうにつつまみ食いをする園児もいました。たくさん紅白餅がつきました。役員のみなさん、ご苦労様でした。



また、19日には南松園に届けたそうです。おじいちゃん、おばあちゃんが大変喜んでいました。



低学年の部 優勝 田代剣道スポーツ少年団

11月30日(土)、伊集院町総合体育館で行われた、『あなたの町の郵便局旗鹿屋少年剣道錬成大会』において、田代剣道スポーツ少年団が低学年の部で優勝、高学年の部で第3位というすばらしい成績を収めました。

また、12月14日(土)、田代郵便局を訪れて、福山局長に優勝報告を行いました。

今年は、全国大会出場に向けて、朝夕の練習を一生懸命がんばっています。町民の皆様のご支援をよろしくお願いします。

なお、新しい団員を募集しています。一緒にすばらしい汗を流してみたいかでしょうか？

市町村合併に関する 第2回アンケート調査結果

配布枚数	2,733	
回収枚数	2,438	89.21%
有効回答	2,409	88.14%

設 問 1	回 答	回 答 数	割 合
あなたの性別は。	男	1,113	46.20%
	女	1,274	52.89%
	無回答	22	0.91%
	合 計	2,409	100.00%

設 問 2	回 答	回 答 数	割 合
あなたの年齢は。	10代	13	0.54%
	20代	145	6.02%
	30代	225	9.34%
	40代	320	13.28%
	50代	326	13.53%
	60代	495	20.55%
	70歳以上	873	36.24%
	無回答	12	0.50%
	合 計	2,409	100.00%

設 問 3	回 答	回 答 数	割 合
7月と11月に合併に関する説明会を開催しましたが、何回出席しましたか。	2回	235	9.76%
	1回	485	20.13%
	出席なし	1,632	67.75%
	無回答	57	2.37%
	合 計	2,409	100.00%

設 問 4	回 答	回 答 数	割 合
あなたは、合併について理解していますか。	理解している	535	22.21%
	ある程度	1,178	48.90%
	わからない	636	26.40%
	無回答	60	2.49%
	合 計	2,409	100.00%

設 問 5	回 答	回 答 数	割 合
あなたは、本町が他の町と合併する事についてどう思いますか。	したほうが良い	1,140	47.32%
	しないほうが良い	431	17.89%
	どちらでも良い	771	32.00%
	無回答	67	2.78%
	合 計	2,409	100.00%

設 問 6	回 答	回 答 数	割 合
合併するとしたら、どの組み合わせが良いと思いますか。(問5で①と答えた人)	南隅4町	679	59.56%
	2市10町	404	35.44%
	その他	38	3.33%
	無回答	19	1.67%
	合 計	1,140	100.00%

第2回市町村合併住民説明会

7月20日～8月2日にかけて行われた、『第1回市町村合併説明会』。合併が推進されている社会的背景と合併までの手続き等について説明し、アンケート調査をしました。

今回、そのアンケート調査や研究会での報告書を基に、11月11日～22日の10日間、8会場において、『第2回目の市町村合併住民説明会』を開催しました。

今回は、今後の財政状況や、合併による効果と懸念事項、国・県の今後の方向性について具体的に、担当課長・担当者が資料を基に説明を行い、町長の今の心境についても、話されました。

熱心に耳を傾けた住民の方々からは、合併の是非について、積極的な意見が様々出されました。



また、説明会終了後のアンケート調査では、対象者を18歳以上(高校生を除く)の住民として、合併の是非について、回答を頂きました。

配布、回収については、小組合長さんを始め、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今後、アンケート調査結果を基に、議会や振興審議会等で意見交換を行い、進むべき方向性を導きたいと思います。

今後とも、町民の皆様方のご協力をよろしくお願いします。

なお、アンケート調査の結果は、左ページののとおりです。



平成15年度 川原保育園入園申込みの受付について

平成15年度川原保育園入園申込みの受付を1月24日までいたします。申込書は役場民生課及び川原保育園に準備してあります。なお保育園の入園には、基準があります。次の基準に該当する場合に入園できます。わからない点がありましたら、役場民生課福祉係までご連絡ください。

① **家庭外労働** 児童の親が家庭の外で仕事をするのが普通なもので、その児童の保育ができない場合

② **家庭内労働** 児童の親が家庭で児童と離れて、日常の家事以外の仕事をすることが普通なもので、その児童の保育ができない場合

③ **親のいない家庭** 死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭の場合

④ **母親の出産等** 親が出産の前後、病氣、負傷、心身に障害があったりするので、その児童の保育ができない場合

⑤ **病人の看護等** その児童の家庭に長期にわたる病人や、心身に障害のある人がいるため、親がいつもその看

護にあたっており、その児童の保育ができない場合

⑥ **家庭の災害** 火災や風水害や地震などの不幸があり、その家を失ったり、破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合。

⑦ **町長が認める前各号に類する状態にある場合**

川原保育園の行っている特別保育

- **乳児保育事業** 0歳児(概ね3か月から)の保育を行います。
- **学童保育(放課後対策事業)** 昼間保護者のいない小学校低学年児童を対象とし、遊びを主として指導を行い、児童の健全育成を図ります。(申込者のみ)
- **延長保育** 保護者の就業時間に対応し、午後7時まで保育を行います。(申込者のみ)
- **保育所地域活動事業** 老人福祉施設訪問等世代間交流事業
- ・ 特別養護老人ホーム南松園の入所者と、各種行事を通じて世代間のふれあい活動を行います。
- ・ 異年齢児交流事業
- ・ 保育園児と地域の児童が各種行事を通じて交流を行います。

たこあげは電線にふれないところで

次のようなことに気をつけてたこあげをしましょう。

- たこは電線から十分に離れた広いところであげましょう
- もし、たこが電線にかかった場合は、危険ですから自分で取らずに、すぐ最寄りの九州電力営業所へご連絡ください。



九州電力大根占営業所
☎22-0050

- ・ 地域の子育てと家庭への育児講座
- ・ 保育園入所児童の保護者及び地域の乳幼児を持つ保護者等に対して育児講座を開催します。
- ・ 郷土文化伝承事業
- ・ 郷土の歌、お話等の体験学習
- **障害児保育** 障害児を受け入れられるよう設備等の整備を行い、障害児の健全育成を図ります。
- **子育て支援センター事業** 乳幼児をもつ方ならどなたでもご利用できます。子育て相談・育児講座・園開放・園行事への参加等、子育て支援を行っています。

2 被保険者一人当り医療費の推移

平成13年度における国保被保険者一人当り医療費は、若人が244,466円、退職者が395,549円、老人が664,245円で、全体で423,238円となっており、若人に対して退職は1.6倍、老人は2.7倍となっている。

また、平成12年度からの伸び率を見ると、若人は14.5%の上昇、退職は12.6%低下、老人は3.1%低下し、全体では2.9%上昇している。

第4表 被保険者1人当りの医療費 (単位：円、%)

区分 年度	合計		若人		退職者		老人	
	件数	伸び率	件数	伸び率	件数	伸び率	件数	伸び率
7	313,285		182,050		361,196		625,540	
8	337,174	7.6%	175,387	-3.7%	430,771	19.3%	682,694	9.1%
9	356,549	5.7%	175,387	0.0%	382,589	-11.2%	729,774	6.9%
10	393,935	10.5%	190,079	8.4%	428,095	11.9%	752,772	3.2%
11	435,659	10.6%	216,514	13.9%	415,540	-2.9%	791,008	5.1%
12	411,253	-5.6%	213,477	-1.4%	452,497	8.9%	685,776	-13.3%
13	423,238	2.9%	244,466	14.5%	395,549	-12.6%	664,245	-3.1%
県12年度	441,877	-5.5%	231,531	2.9%	377,970	0.7%	829,149	-12.5%
県との比較	-30,624		-18,054		74,527		-143,373	

3 高額療養費の推移

平成13年度における高額療養費は、3,008万円で、前年度比べて8.2%増加しており、内訳では、若人が10.6%の増、退職分が9.3%の減となっている。

第5表 高額医療費の状況 (14年度は10月末(8月診療分)現在) (単位：千円、%)

区分 年度	合計			若人			退職者		
	件数	支給額	伸び率	件数	支給額	伸び率	件数	支給額	伸び率
7	304	26,083,424		260	23,946,549		44	2,136,875	
8	337	21,457,176	-17.7%	278	17,157,537	-28.4%	59	4,299,639	101.2%
9	302	19,617,114	-8.6%	261	17,180,366	0.1%	41	2,436,748	-43.3%
10	334	23,872,396	21.7%	285	20,511,661	19.4%	49	3,360,735	37.9%
11	342	28,167,402	18.0%	302	24,683,140	20.3%	40	3,484,262	3.7%
12	339	27,798,591	-1.3%	299	24,515,975	-0.7%	40	3,282,616	-5.8%
13	344	30,080,182	8.2%	313	27,103,829	10.6%	31	2,976,353	-9.3%
14	143	13,426,265		130	12,316,391		13	1,109,874	

4 年度別診療諸率の推移

(1) 受診率 (被保険者100人当たり受診件数)

平成13年度受診率は1,040.36%で、前年度に比べて15.01ポイント、1.5%の増となっている。

第6表 受診率の推移 (14年度は10月末(7月診療分)現在)

区分 年度	受診率 (%)				対前年比 (%)			
	入院	入院外	歯科	計	入院	入院外	歯科	計
7	43.48	725.16	78.53	847.17				
8	45.35	778.67	80.46	908.09	104.3%	107.4%	102.5%	107.2%
9	44.27	800.47	86.62	931.36	97.6%	102.8%	107.7%	102.6%
10	46.50	848.98	81.07	976.55	105.0%	106.1%	93.6%	104.9%
11	47.90	870.16	90.95	1,009.00	103.0%	102.5%	112.2%	103.3%
12	47.80	889.52	88.02	1,025.35	99.8%	102.2%	96.8%	101.6%
13	47.48	905.13	87.74	1,040.36	99.3%	101.8%	99.7%	101.5%
14	42.11	863.91	81.31	987.33				
県12年度	57.51	897.52	98.22	1,053.25	95.7%	102.2%	101.6%	101.8%

(2) 一件当たり受診日数

平成13年度の一件当たり受診日数は、総数で3.08日で前年度と比て0.07ポイント、2.2%の減となっている。

第7表 一件当たり受診日数の推移 (14年度は10月末(7月診療分)現在)

区分 年度	一件当たり受診日数 (日)				対前年比 (%)			
	入院	入院外	歯科	計	入院	入院外	歯科	計
7	20.41	2.28	2.87	3.26				
8	20.76	2.28	2.91	3.27	101.7%	100.0%	101.4%	100.3%
9	20.04	2.21	2.81	3.11	96.5%	96.9%	96.6%	95.1%
10	19.72	2.24	2.80	3.12	98.4%	101.4%	99.6%	100.3%
11	19.86	2.28	2.37	3.15	100.7%	101.8%	84.5%	101.0%
12	20.40	2.26	2.69	3.15	102.7%	99.1%	113.7%	100.0%
13	20.08	2.23	2.68	3.08	98.4%	98.7%	99.6%	97.8%
14	20.07	2.32	2.63	3.10				
県12年度	20.90	2.65	2.97	3.68	98.1%	94.6%	99.0%	94.4%

国民健康保険事業状況

I 事業の実施状況

1 被保険者数及び世帯数

本町の人口は減少傾向にある。それと反比例して国民健康保険の被保険者数は増加傾向にあり、平成13年度末は2,031人で前年度に比べて40人増加 (伸び率2.0%) し、人口に対する加入割合も2.3ポイント上がり58.8%となっている。

平成13年度末の国保世帯数は990世帯で前年度に比べて、9世帯増加(伸び率0.9%)となっている。

また、一世帯当たりの被保険者数は2.05人と増加している。

第1表 年度別被保険者数及び世帯数の推移 (年度末現在)

区分 年度	人口 (人) A	被保険者数 (人) B	加入割合 (%) B/A	国保世帯数 C	1世帯当たり 被保険者数 (人) B/C	総世帯数
7	3,743	2,170	58.0%	988	2.20	1,410
8	3,709	2,127	57.3%	983	2.16	1,413
9	3,668	2,114	57.6%	985	2.15	1,413
10	3,615	2,025	56.0%	971	2.09	1,412
11	3,558	2,028	57.0%	990	2.05	1,450
12	3,522	1,991	56.5%	981	2.03	1,453
13	3,456	2,031	58.8%	990	2.05	1,443
14	3,455	2,084	60.3%	1,002	2.08	1,450

(注) 人口は、「住民基本台帳人口」による。また、平成14年度は10月末現在である。

2 老人保健医療給付対象者

国保被保険者の老人保健医療給付対象者は、毎年増加傾向にあり、平成13年度末は、832人で、前年度に比べて29人増加 (伸び率3.6%) している。

また、国保被保険者に占める割合も、年々増加し41.0%となっている。

第2表 老人保健医療給付対象者数 (年度末現在で、14年度は10月末現在)

区分 年度	老人保健対象者数 (人)		総数に対する 国保割合 B/A*100	国保 被保険者数 (人) C	国保老人 割合 (%) B/C*100	県国保 老人割合 (%)	全国国保 老人割合 (%)
	総数 A	国保分 B					
7	786	602	76.6%	2,170	27.7%	—	—
8	818	626	76.5%	2,127	29.4%	28.9	21.1
9	861	668	77.6%	2,114	31.6%	30.2	22.1
10	914	718	78.6%	2,025	35.5%	31.2	22.9
11	946	761	80.4%	2,028	37.5%	32.2	23.7
12	996	803	80.6%	1,991	40.3%	33.6	24.6
13	1,017	832	81.8%	2,031	41.0%	33.6	—
14	1,030	851	82.6%	2,084	40.8%	—	—

II 国保被保険者の医療費

1 医療費の推移

平成13年度における国保被保険者の医療費は、若人分が2億6,280万円、退職者分が4,588万4千円、老人分が5億4,202万4千円となっている。

平成12年度と比較すると、若人が2,690万9千円増加 (伸び率11.4%)、退職は705万8千円減少 (伸び率△13.3%)、老人分が751万8千円増加 (伸び率1.4%) となっている

また、国保被保険者数の41.0%を占める老人の医療費は、63.7%を占めている。

第3表 医療費の推移 (14年度は10月末(7月診療分まで)現在) (単位：円、%)

区分 年度	医療費総額							
	合計		若人		退職者		老人	
	件数	伸び率	件数	伸び率	件数	伸び率	件数	伸び率
7	688,889,150		266,703,320		48,761,471		373,424,359	
8	737,942,221	7.1%	246,067,267	-7.7%	55,569,465	14.0%	436,305,489	16.8%
9	763,601,231	3.5%	238,350,552	-3.1%	47,441,068	-14.6%	477,809,611	9.5%
10	823,381,322	7.8%	237,028,732	-0.6%	51,371,435	8.3%	534,981,155	12.0%
11	885,572,159	7.6%	257,435,084	8.6%	49,449,280	-3.7%	578,687,795	8.2%
12	823,339,400	-7.0%	235,891,893	-8.4%	52,942,131	7.1%	534,505,376	-7.6%
13	850,707,706	3.3%	262,800,448	11.4%	45,883,636	-13.3%	542,023,622	1.4%
14	318,992,829	—	80,446,683	—	13,426,958	—	225,119,188	—

Ⅲ収支状況

平成13年度における収支状況は、歳入で5億1,896万6千円、歳出4億6,674万円で収支差引5,222万7千円の黒字となっている。

平成12年度と比較すると、歳入が2,309万2千円増加（伸び率4.7％）し、歳出が3,556万7千円増加（伸び率8.2％）した結果、収支差額では、1,247万5千円減少（伸び率△19.3％）している。

第11表 年度別収支状況（形式収支）（単位：円、％）

区分 年度	歳入決算額	歳出決算額	収支差引	基金保有額	対前年比	被保険者1人当り 基金保有額
7	480,077,087	400,172,780	79,904,307	131,632,265		59,969
8	473,656,261	387,770,219	85,886,042	151,585,146	15.16%	70,374
9	466,913,344	382,010,002	84,903,342	167,810,353	10.70%	78,637
10	480,096,037	412,580,026	67,516,011	183,477,802	9.34%	88,894
11	497,072,661	435,163,625	61,909,036	184,089,907	0.33%	89,888
12	495,874,490	431,172,747	64,701,743	184,534,505	0.24%	91,900
13	518,966,370	466,739,628	52,226,742	185,237,539	0.38%	92,158

Ⅳ保険税の収納状況

平成13年度現年度分の収納率は、全体で99.04％で前年度より0.65％減少し、滞納繰越分も、前年度より6.08％減少している

又、14年度においては、農業所得等の減により調定額(介護保険分を除く)が減少している。

第12表 年度別保険税の収納状況（14年度は10月末現在。また12年度より介護保険制度が始まる）

区分		現 年 度				滞 納 繰 越			計		
年度		調定額	収納額	収納率	1人当り 調定額	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
7	一般	93,112,097	92,410,552	99.25%	46,147	3,489,041	952,000	27.29%	96,601,138	93,362,552	96.65%
	退職	9,013,703	9,013,703	100.00%	45,200	107,600	49,700	46.19%	9,121,303	9,063,403	99.37%
	計	102,125,800	101,424,255	99.31%	46,147	3,596,641	1,001,700	27.85%	105,722,441	102,425,955	96.88%
8	一般	98,584,663	97,187,260	98.58%	48,684	3,197,286	430,000	13.45%	101,781,949	97,617,260	95.91%
	退職	7,813,137	7,813,137	100.00%	60,567	57,900	35,000	60.45%	7,871,037	7,848,137	99.71%
	計	106,397,800	105,000,397	98.69%	49,395	3,255,186	465,000	14.28%	109,652,986	105,465,397	96.18%
9	一般	92,159,434	91,220,934	98.98%	45,850	4,121,089	452,600	10.98%	96,280,523	91,673,534	95.22%
	退職	7,797,566	7,797,566	100.00%	62,884	22,900	15,000	65.50%	7,820,466	7,812,566	99.90%
	計	99,957,000	99,018,500	99.06%	46,840	4,143,989	467,600	11.28%	104,100,989	99,486,100	95.57%
10	一般	91,634,405	90,718,105	99.00%	47,137	4,580,589	762,700	16.65%	96,214,994	91,480,805	95.08%
	退職	7,332,595	7,332,595	100.00%	61,105	7,900	7,900	100.00%	7,340,495	7,340,495	100.00%
	計	98,967,000	98,050,700	99.07%	47,949	4,588,489	770,600	16.79%	103,555,489	98,821,300	95.43%
11	一般	93,624,850	93,178,750	99.52%	48,535	4,719,589	795,043	16.85%	98,344,439	93,973,793	95.56%
	退職	6,780,550	6,780,550	100.00%	56,979			—	6,780,550	6,780,550	100.00%
	計	100,405,400	99,959,300	99.56%	49,026	4,719,589	795,043	16.85%	105,124,989	100,754,343	95.84%
12	一般	93,233,557	92,932,263	99.68%	46,270	4,370,646	950,621	21.75%	97,604,203	93,882,884	96.19%
	退職	6,559,643	6,559,643	100.00%	63,472			—	6,559,643	6,559,643	100.00%
	介護一般	7,426,229	7,389,203	99.50%	12,170				7,426,229	7,389,203	99.50%
	介護退職	828,671	828,671	100.00%	11,509				828,671	828,671	100.00%
	計	108,048,100	107,709,780	99.69%	53,809	4,370,646	950,621	21.75%	112,418,746	108,660,401	96.66%
13	一般	87,739,043	86,855,194	98.99%	43,030	3,721,319	587,814	15.80%	91,460,362	87,443,008	95.61%
	退職	6,058,857	6,058,857	100.00%	53,147				6,058,857	6,058,857	100.00%
	介護一般	7,084,097	6,994,846	98.74%	13,290	37,026	1,106	2.99%	7,121,123	6,995,952	98.24%
	介護退職	617,603	617,603	100.00%	8,698				617,603	617,603	100.00%
	計	101,499,600	100,526,500	99.04%	49,003	3,758,345	588,920	15.67%	105,257,945	101,115,420	96.06%
14	一般	84,892,510	49,790,798	58.65%	41,492	4,024,974	89,200	2.22%	88,917,484	49,879,998	56.10%
	退職	5,729,890	3,524,898	61.52%	48,974				5,729,890	3,524,898	61.52%
	介護一般	6,738,100	3,908,044	58.00%	13,503	117,551	3,900	3.32%	6,855,651	3,911,944	57.06%
	介護退職	527,900	305,620	57.89%	9,960				527,900	305,620	57.89%
	計	97,888,400	57,529,360	58.77%	45,720	4,142,525	93,100	2.25%	102,030,925	57,622,460	56.48%

（3）一日当たり診療費

平成13年度の一日当たりの診療費は総数で10,391円で、前年度に比べ301円、3.0％の増となっている。

第8表 1日当たり受診日数の推移（14年度は10月末(7月診療分)現在）

区分 年度	一日当たり診療費（円）				対前年比（％）			
	入院	入院外	歯科	計	入院	入院外	歯科	計
7	15,222	5,599	5,222	8,660				
8	14,864	6,008	5,452	8,773	97.6%	107.3%	104.4%	101.3%
9	15,659	6,573	5,305	9,251	105.3%	109.4%	97.3%	105.4%
10	17,582	6,322	6,524	9,636	112.3%	96.2%	123.0%	104.2%
11	19,314	6,573	5,957	10,338	109.9%	104.0%	91.3%	107.3%
12	18,582	6,504	5,605	10,090	96.2%	99.0%	94.1%	97.6%
13	19,792	6,522	5,455	10,391	106.5%	100.3%	97.3%	103.0%
14	18,436	6,560	5,406	9,758				
県12年度	17,141	6,127	6,321	9,561	105.7%	96.7%	101.1%	100.7%

（4）一人当たり診療費

平成13年度の一人当たり診療費は総数で333,101円で、前年度に比べて7,640円、2.3％の増となっている。

第9表 一人当たり診療費の推移（14年度は10月末(7月診療分)現在）

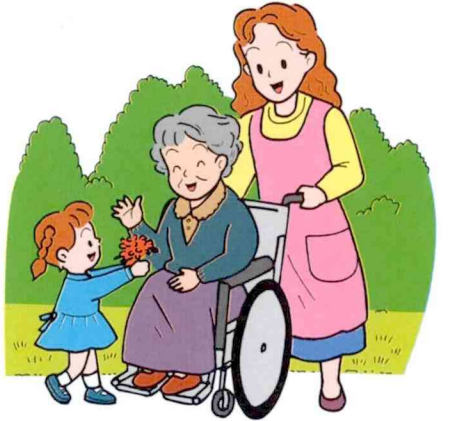
区分 年度	一人当たり診療費（円）				対前年比（％）			
	入院	入院外	歯科	計	入院	入院外	歯科	計
7	135,111	92,385	11,770	239,267				
8	139,913	106,871	13,356	260,140	103.6%	115.7%	113.5%	108.7%
9	138,922	116,035	12,901	267,858	99.3%	108.6%	96.6%	103.0%
10	161,271	120,063	11,947	293,280	116.1%	103.5%	92.6%	109.5%
11	183,734	130,679	14,354	328,767	113.9%	108.8%	120.1%	112.1%
12	181,231	130,940	13,290	325,461	98.6%	100.2%	92.6%	99.0%
13	188,710	131,572	12,819	333,101	104.1%	100.5%	96.5%	102.3%
14	155,822	131,413	11,549	298,783				
県12年度	206,003	145,639	18,467	370,110	99.3%	95.2%	100.7%	97.7%

（5）一件当たり診療費

平成13年度の一件当たり診療費は総数で32,018円で、前年度に比べて277円、0.9％の増となっている。

第10表 一件当たり診療費の推移（14年度は10月末(7月診療分)現在）

区分 年度	一件当たり診療費（円）				対前年比（％）			
	入院	入院外	歯科	計	入院	入院外	歯科	計
7	310,728	12,740	14,988	28,243				
8	308,498	13,725	15,888	28,647	99.3%	107.7%	106.0%	101.4%
9	313,789	14,496	14,894	28,760	101.7%	105.6%	93.7%	100.4%
10	346,782	14,142	14,737	30,032	110.5%	97.6%	98.9%	104.4%
11	383,608	15,018	15,783	32,583	110.6%	106.2%	107.1%	108.5%
12	379,109	14,720	15,099	31,741	98.8%	98.0%	95.7%	97.4%
13	397,421	14,536	14,609	32,018	104.8%	98.8%	96.8%	100.9%
14	370,077	15,211	14,203	30,262				
県12年度	358,175	16,227	18,803	35,140	103.7%	93.2%	99.2%	96.0%



農業所得標準の廃止について

「農業所得標準」のうち「野菜・果樹・畜産等所得標準」は平成12年分の確定申告から廃止されていますが、「普通田畑所得標準」につきましても、平成15年分（平成16年3月15日法定申告期限分）から廃止されることとなりました。

したがって、すべての農業所得者の方は、実際の収入金額から必要経費を差し引く計算により、農業所得を計算し、申告していただくこととなります。また、収入金額や必要経費の証明書・領収書等を保存しておかれますようお願いいたします。

また、税務署では、青色申告をお勧めするとともに、青色申告以外の方についても、記帳等に基づく収支実額計算による申告をしていただくよう関係機関の協力を得ながら、記帳・収支計算の説明会及び研修会を開催していきますので、これらの機会に是非ご利用ください。

なお、ご不明な点がありましたら、最寄りの税務署や税務相談室にお気軽にお尋ねください。

鹿屋税務署
0994(42)3127
税務相談室（鹿児島分室）
0994(42)2427

国民年金保険料の領収書は大切に

国民年金保険料は、所得税の確定申告をする際に「社会保険料控除」の対象になります。

確定申告に当たっては、1年間に納付した保険料額を計算する必要がありますが、平成14年度から、国民年金保険料の収納義務が市町村から国へ移管したことに伴い、市役所及び町村役場で保険料の納付証明書を発行することができなくなりましたので、保険料の領収書や振替口座の通帳等で年間支払額を計算し、申告されるようお願いいたします。

なお、確定申告の際には、納付証明書や領収書は申告書に添付する必要があります。

また、国民年金保険料の領収証は再発行できませんので大切に保管してください。



「工業統計調査」にご協力を

今年も、製造業を営む事業所を対象に、その実態及び活動状況を明らかにするため、12月31日（月）現在で、工業統計調査を実施します。

調査の結果は、国や県の景気対策・中小企業対策・都市計画及び民間企業や大学など、国民生活の幅広い分野で活用され、豊かで住みよい日本を築くために役立てられます。

工業統計調査員が各事業所を訪ねますので、調査票にご記入の上、指定された期日までに調査員に提出してください。

調査の記入内容などについては、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力よろしく願います。

県庁統計課又は役場企画管財課まで
099(286)2479

年末年始の犯罪及び事故の防止

年の瀬は、さまざまな犯罪が多く発生しています。被害に遭わないため、職場や家庭で次の点に注意してください。

○金融機関・商店では
・店舗周辺での不審者車に注意しましょう。
・非常時の任務分担・通報体制などを確認しましょう。
・レジカウンターには多額の現金を置かないようにしましょう。

○家庭では
・外出時は必ず鍵をかけ、隣にひと声かけましょう。
・ひったくり被害にあわないよう、ハンドバッグはしっかりと握るか、胸に抱えて持ち、自転車やミニバイクの荷カゴには防犯ネットをかぶせましょう。

・外出時、防犯ブザーなどを携帯するなど、防犯対策に心がけましょう。

県警生活安全企画課
099(206)0110

インフルエンザの予防について

インフルエンザの流行する季節になります。インフルエンザにかかると、かぜの症状に加え、高熱、倦怠感、節々の痛みなどの全身症状が強く現れます。特に、気管支ぜん息、心疾患、糖尿病、腎不全などの基礎疾患をお持ちの方、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児は、脳炎や肺炎などの合併症をおこして重症化することがあります。

インフルエンザを予防するには、日頃から、外出後の手洗い・うがい、十分な睡眠と栄養、室内の加湿、体調のよくない時は人混みを避けるなどを心がけましょう。

また、流行する前に予防接種を受けることもおススメします。もし、インフルエンザにかかったと思ったら、早めに医療機関で受診してください。

県庁健康増進課
099(286)2724

110番制度の周知徹底と正しい利用方法について

県内における110番通報の件数は、平成14年9月末現在で約4万7千件（前年比十千件）にも及び、事件・事故等の早期解決に大きく貢献しています。

しかしながら、一方では、携帯電話やPHS等の移動電話の普及に伴い、110番に馴染まない各種相談、照会、いたずら電話等がなされるなど、制度に対する理解不足も見受けられ、本来至急に対応すべき事件・事故に支障を来すこともあります。

そこで、警察に対する要望・苦情・相談・各種照会等は、プッシュ式電話にあつては、「#9110」ダイヤル式電話にあつては、「099(206)0110」をご利用ください。

なお、県本土の110番通報をすべて県警察本部で受理していただきます。

落着いて、内容を説明してください。

悪質な貸金業者にご注意！

●「低金利で融資」「他店で断られた方でもOK」などと多重債務者を誘い込み、出資法で定められた上限金利（年29.2%。ただし日賦貸金業者などは特例あり）を超える法外な利息を要求したり、さまざまな手口で金銭をだまし取ったりする業者や無登録で営業する業者など、悪質な業者による被害が後を絶ちません。貸金業者を利用しようとする場合には十分注意してください。

●国民年金など公的年金は、社会福祉・医療事業団から借入れする場合を除いて、国民年金法などによって国民年金などの給付を受ける権利を譲り渡すこと、担保にすること、差し押さえることは禁止されています。年金証書や通帳、キャッシュカード、印鑑などは、貸金業者に渡さないよう注意してください。

工業統計調査
皆様のご理解とご協力をお願いします。
平成14年12月31日
鹿児島県 統計課 099(206)2479

「心の教育」鹿児島講演会
日時：平成15年1月20日（月）
午後1時～3時
会場：田代町役場3階大会議室
講師：北村弥枝氏（きたむらみづ）
【教育評論家、教育研究会未来主宰】
▼問合せ・連絡先
久保幸雄（09942513078）

メイン標語
事件・事故
緊急ダイヤル110番
サブ標語
110番は緊急電話
相談事は#9110

上野原縄文の森オープン
縄文の世界と向き合い、ふれあい・学び・親しむ場「県上野原縄文の森」が10月に国分市に開園しました。

○主な施設
国指定史跡（上野原遺跡）、上野原縄文の森展示館（レストラン・売店も併設）、遺跡保存館、復元集落、地層観察館、体験学習館、古代家屋群、祭りの広場、展望の丘、県立埋蔵文化財センターなど

○体験メニュー（火起こし以外は要実費）
火起こし、勾玉づくり、ウォークラリー、古代食づくりなど

○休園日
①毎週月曜日（休日に当たるときは翌日）
ただし、平成14年度は毎月第1・第3月曜日を休園。
4月29日～5月5日、7月21日～8月31日は無休。
②12月30日～1月1日（年末年始）

○開園時間
①通常 午前9時～午後5時
②7月1日～8月31日 午前9時～午後7時

○観覧料（展示館）
・小・中学生 150円（団体20名以上120円）
・高・大学生 210円（団体20名以上160円）
・大人 300円（団体20名以上240円）
教育課程などに基づき学習活動の一環として観覧するときは減免 措置有り。

▽今後の日程
平成15年2月8日（土）トナリクサと装飾具作り
平成15年2月15日（土）土器の接合

▽問い合わせ先
県上野原縄文の森 TEL 0995-48-5701

国の教育ローン（国民生活金融公庫）

▼ご利用いただける方
大学、短大、専修学校などへ入学・在学される方の保護者の世帯年間収入が前年の収入が990万円（事業所得者は770万円）以内の方

▼融資額
学生・生徒一人につき200万円以内

▼返済期間
10年以内（交通遺児家庭又は母子家庭の方は11年以内）

▼措置期間
在学期間内（返済期間に含まれます。）

▼使いみち
①入学金等の学校納付金（入学金授業料など）
・受験にかかった費用（受験料・交通費・宿泊費など）
・必要な費用
②在学中に必要な費用
授業料等の学校納付金、下宿代等住居にかかる費用、通学に要する交通費及び学生の国民年金保険料

▼利率
年2.1%（平成14年9月11日現在）

▼返済方法
元利金等毎月払い
（ボーナス併用返済、ステップ返済も可能）

▼保証
（財）教育資金融資保証基金または保証人1名以上

▼問い合わせ先
国民生活金融公庫鹿屋支店
0994-42-5141
ホームページアドレス（URL）は、
<http://www.kokukin.go.jp/>



「島わたり」の紹介
(3・4年生の発表より)

今年度、大原小学校では毎年行っていた「取り入れ祭り」と「学習発表会」を合わせ、「オータムフェスティバル」として行いました。

第1部は学習発表会。1年生と2年生はどちらも国語劇を少人数ながら堂々と発表しました。3・4年生は、総合的な学習の時間に学習した昔の遊びを、5・6年生は、大原の盤山地区の方々の歴史を劇で発表しました。

招待した高齢者の方々の中には昔を思い出されたのか、子どもの演技に目頭をおさえる姿も見られました。

学校だより

大原小学校

オータムフェスティバル



を、保護者や地域の高齢者の方々にもご協力いただいて、焼きもちやきしん団子に作り上げました。

そして、会食では、温かいしし汁、そして、1年生が生活科の時間に収穫したもち米

5年生を中心に4月から育て、8月に収穫したもち米



第2部は、取り入れ祭り。



♪Let's go とび出そう～♪

その後体育館の方では、生活科で1・2年生が作り上げた秋のお祭りをを行い、お店ごっこやゲームでおおいに盛り上がりしました。最後は町の音楽祭でも演奏する曲を披露し、初めてのオータムフェスティバルは大盛況でした。



いらっしやい!!何がいいですか?

つくった焼きもちも加わり、収穫の喜びを皆で味わうことができました。



小学生の元気な取り組み

11月17日、若宮神社で川原地区村づくり相撲大会が開催されました。

今年は会場が改修されて屋根付きの立派な相撲場となり、落成式典が華やかに執り行われました。行司の軽妙な実況のもと、川原・花瀬・上部・麓・大原地区の子ども会、青年、婦人会まで約五百名が参加して、相撲大会を盛り上げました。

力の入った取り組みでは、歓声と拍手がこたまし続ける一日でした。

山原地区村づくり相撲大会



応援も盛り上がりました



真剣な立ち会い



豪華景品も用意されました

まちの保健室だより

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いします。

今年よりこのコーナーにおいて健康・環境についていろいろな情報をお伝えしようと思っています。みなさんご意見・ご要望をどしどしお寄せください。

1月の行事予定

15(水)～17(金)	麻疹予防接種	14時～17時	濱畑クリニック
17(金)	はとぼっぼ教室	9時30分～	福祉センター
	3歳児健診	13時30分～	根占町保健センター
20(月)	レントゲン未受診者検診		
21(火)	花瀬いきいき教室	9時30分～	でんしろう館
	妊婦教室	13時30分	大根占町福祉センター
24(金)	7～8ヶ月児健診	13時30分	根占町福祉センター
毎週木曜日	5～8ヶ月児健診		
	5～8ヶ月児健診		

●活動紹介●

健康クラブ

●毎週木曜日 13時30分～

●老人福祉センター

寝たきり予防、閉じこもり予防の目的で小倉記念病院の理学療法士・作業療法士がレクレーションや体操などの指導を行います。月に1度は食生活改善推進員による手作りのおやつもあり、みななわきあいあいとしそです。送迎も行っていますので、興味のある方は気軽に民生課までお申し込みください。

はとぼっぼ教室



12月4日花瀬でんしろう館で『はとぼっぼ教室』が開催されました。

今回は、お母さん方の体操を中心に、インストラクターの方と一緒に、心地よい汗を流していました。

子供達は、保育士の方々と元気いっぱい寒さを感じさせないぐらいい、元気に遊んでいました。

当日は親子約20名の参加で、楽しいひと時を過ごされました。

就学前の子供を持つ、町内に住んでいる方ならどなたでも参加できます。 問合せは、役場民生課保健衛生係まで。



健康よもやま話!

～インフルエンザとかぜの違いって何?～

またインフルエンザの流行する時期になりました。一度かかったことのある人はあの苦しみを思うと、身震いする人も多いことでしょう。インフルエンザとかぜは全く違う病気です。症状の違いを左に書きます。

	インフルエンザ	か	ぜ
症 状	悪寒、頭痛 全身痛、倦怠感	くしゃみ、鼻水 せき、鼻づまり	
熱	38～40度(3～4日)	微	熱
合併症	気管支炎	ま	れ

■■■■■■■■■■予防と治療■■■■■■■■■■

予防接種が1番の予防です。田代町でもやっていますので、ぜひ受けにこられてください。その他の予防法として、十分な栄養と休養、室内の乾燥に注意するうがい、手洗いなどがあります。

治療としては、最近良い薬ができましたので、早めに病院を受診すること、こまめに水分補給をする、乾燥に気をつける、消化によいものを食べるなどです。

早め早めの対応で、この冬を乗りきりましょう!!
ご意見・ご要望は民生課保健衛生係まで

子育て講演会

日時…平成15年2月15日(土)
午後1時～2時30分
(受付開始…午後12時30分)
場所…大根占町中央公民館
1階和室…託児スペース
2階会議室…講演会
講師…鈴木美保子先生
演題…『母と子の絆について』
*託児と希望する方は、人数制限がありますので1月31日(金)まで、役場民生課保健衛生係まで申し込んでください。また、託児に協力して下さるボランティアも募集中です。併せて、連絡をお待ちしております。

健康かごしま21 推進セミナー

日時…平成15年1月29日(水)
午後1時～4時30分
場所…鹿屋市文化会館
内容
①基調講演「鹿児島県の健康づくり運動 健康かごしま21策の背景と目指すもの」
②シンポジウム「みんなが進める地域の健康づくり」

動物愛護普及講演

肝臓獣医師会では、動物愛護普及に関する講演会を実施いたします。

内容は、動物行動学の見地から基本的なしつけ方や、問題行動の解決方法について、見識を深め適正飼育を通じて、より深い動物愛護精神の育成、及び飼い主のモラルの向上を目的とするものです。

興味のある方はぜひご参加下さい。

日時…平成15年1月26日(日)
午後2時～4時まで
場所…鹿屋東地区生涯学習センター1(鹿屋市新川町124)
主催…肝臓獣医師会
講演…二行動学から見た家庭犬のしつけ方
講師…水越美奈先生
(動物行動学NHK学園「愛犬暮らし」講師)

たしろいきいきフェスタ



和の心、大切に



田代幼稚園「マーチング」

11月3日(土)、健康・文化地域振興をテーマに秋の一大イベントとして、「たしろいきいきフェスタ」が花瀬を中心に開催されました。午前の部では、表彰や講演がありました。

花瀬大橋からスタートする2Dと4Dの完走歩大会には、3歳から72歳までの225名が汗を流しました。

午後からは、町民文化祭が花瀬公園多目的広場であり、14の団体による舞台発表のほか、花瀬でんろう館では、児童生徒の作品や公民館講座生の作品、個人の作品等、多数の展示発表もあり、町民総参加による「文化の秋」を満喫した一日となりました。



完走歩大会力走風景



展示部門「野草同好会」



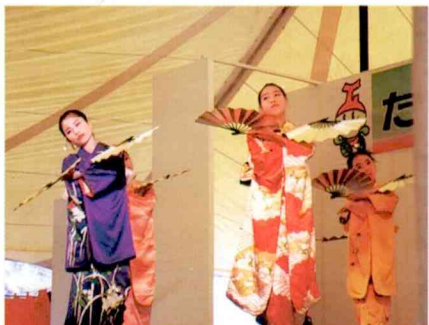
大正琴グループによる合奏



清山親子「親子太鼓」



太極拳受講生による演舞



英聖隆なでしこ会による舞踊



田代小リードバンドによる合奏



英会話グループによるゲーム



佳卓ショー



田代中3年生による合唱



鼓友会「炎〜第3章」



舞台装飾・演技etc...
みんなで頑張りました。



～これは、おうちの人にお土産です～

学校農園のさつまいも!!
こんなに大きく成長していました!!

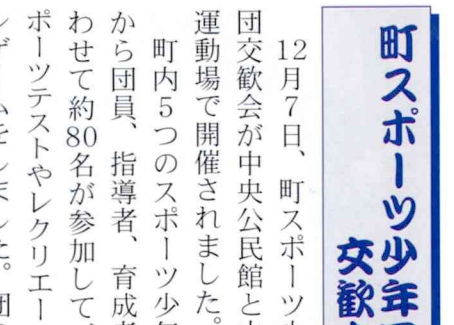
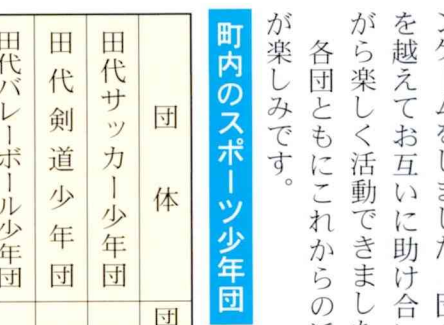
学校だより
田代小学校



▲初めてづくしの1年生!! ちょっぴり緊張しましたが、元気いっぱい!! 全員ゴールしてくれました。
◀賑やかな声援に後押しされて、田代路を爽やかに走りました。



一生懸命上体起こし



団体	団員数
田代サッカー少年団	11
田代剣道少年団	20
田代バレーボール少年団	13
田代ソフトボール少年団	30
大原剣道少年団	12

町内のスポーツ少年団
12月7日、町スポーツ少年団交歓会が中央公民館と中央運動場で開催されました。町内5つのスポーツ少年団から団員、指導者、育成者合わせて約80名が参加して、スポーツテストやレクリエーションゲームをしました。団の枠を越えてお互いに助け合いながら楽しく活動できました。各団ともにこれからの活躍が楽しみです。



ミニバレーで交流を図りました



腕立て何回できるかな?



スタートダッシュ!!時間往復走

青少年団体のよき指導者を目指して

12月10日、役場3階会議室において青少年育成団体後期研修会が開催され、集落子ども会育成会長・副会長、高校生会父母連絡協議会会員、地区子ども会指導員、町子ども会役員の皆さん、合計約40名が参加しました。

人権週間中ということもあり、講師に部落解放同盟鹿児島県連合会執行委員長山口武文氏を招いての人権教育講演会が行われ、参加者は真剣に聞き入っていました。



人権教育講演会



町子連分科会



町高父母連分科会



教育長あいさつ

田代町婦人会運動会

11月10日、町内婦人会員参加の下で運動会が行われました。

5地区に分かれて楽しい競技や応援合戦が繰り広げられました。

その結果、今年度は川原の川東が優勝しました。



昔取った杵柄でお手玉



準備運動は念入りに



応援合戦(大原)



応援合戦(川原)



最後のもちまき



マスゲーム



ジャンケンゲームの勝者

平成十四年

田代町成人式

とき 平成十五年一月三日
受 付 午前九時
開 会 午前九時三十分
ところ 花瀬でんしろう館

主な内容

- ・ビデオ放映
- ・灯火のつどい
- ・式典
- ・町長式辞 議長祝辞
- ・新成人の主張
- ・記念撮影、記念植樹 他

中央公民館図書室の利用の仕方について

- 静かに入りましょう
- 大声を出さない
- お話をしない
- カバンを机にのせない
- チリを残さない
- 利用できる日
- 月曜日～金曜日まで
- 利用できる時間
- 八時三十分～十七時まで
- ※原則として土曜日は利用できません(第一土曜日を除く)

●詳細については●

内閣府

(青少年交流担当 ☎03-3581-1181)

または

鹿児島県環境生活部青少年女性課

(☎099-286-2554)

までお問い合わせ下さい。

青年回国際交流に参加してみませんか

内閣府では、日本と諸外国の青年との交流を通して、相互の友好と理解を深め、広い国際的視野と国際協力の精神を身につけた次代を担うにふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を実施しています。

青年の皆さんが、この事業に積極的に参加し、その経験を生かして地域、職場、学校又は青少年団体等において国際交流活動、青少年活動などを活発に行い、社会に貢献されることを期待しています。

町小中学校音楽祭

11月22日、町中央公民館ホールにおいて、町小中学校音楽祭が開催されました。町内の全児童生徒が参加し、お互いの日頃の音楽学習の成果を発表しました。

田代中学校全校生徒による迫力のある合唱や大原中学校全生徒による合奏、町教職員による合唱など、素晴らしい発表が数多くみられました。

また、鹿屋女子高校教諭によるソプラノ独唱もあり、町民の皆様とともに音楽の素晴らしさを分かち合うことが出来ました。



田代小3年生による合奏



大原小全員による合奏



田代中全員による合唱



大原中全員による合唱



宮原真紀教諭によるソプラノ独唱

教育活動の充実を目指して

教育長 井 上 洋 一

新年あけましておめでとう
ございます。町民の皆様方には
健康やかに新年を迎えられた
ことと心からお慶び申し上げ
ます。旧年中は学校教育をは
じめ、本町の教育活動に深い
ご理解と暖かいご支援を賜
り、おかげさまで日々充実し
た教育活動が展開されつつあ
りますことに深く感謝いたし
ております。

人々との関わりの中で、子ど
もたちに豊かな心と逞しく生
きていける力の育成を目指す
ものです。
いずれも今始まったばかり
で、まだまだ望ましい形では
ないと思いますが、私たち大
人の責務として子どもたちの
教育環境の整備充実に努力し
たいと思います。

また昨年は、文化活動やス
ポーツ活動に我が町の子ども
たちが県・九州・全国での活
躍をしてくれました。
我々町民に夢と希望を与え
てくれた小中高校生の皆さん
に心から拍手を送りたいと思
います。

社会教育では現在、中央公
民館や地区公民館単位の学級
講座や自主学習グループで約
二百名の町民の皆さんが学ん
でいます。楽しみながら生き
甲斐を求めて学ぶ皆さんの姿
は輝いて見えます。さらに多
くの町民の皆さんが学びの場

これらことは、教育を角
度の違う視点から見直し、学
校・地域・家庭の持つ役割を
も見直すことにより、教育を
幅広い分野から、より多くの

に参加くださることを望んで
います。
少子化の進む中、児童生徒
数の減少は避けられず、平成
十七年には大原中学校では複
式学級になることが予測され
ています。そこでこの一年間
田代中学校と大原中学校の統
合問題について検討を重ねて
きました。
さらに各方面の意見を参考
にしながら結論を出す準備を
いたしております。

現在の社会は先行き不透明
で必ずしも明るく希望の持て
る時代ではないかもしれませ
んが、せめて子どもたちには
できる限りの教育環境を整え
てやり、将来に向かって夢の
持てる教育行政を進めて参り
たいと思います。さらに、町
民の皆さんが心豊かで生き甲
斐の持てる生活を支援できれ
ばと思います。
この一年の我が町の教育活
動がさらに充実することを願
い、新年のご挨拶いたします。

町民のうごき (敬称略)

お誕生おめでとう!

氏名 保護者 集落
鶴田 千風 明 麓住宅
鶴園 咲弥 貞徳 鶴園

ご冥福をお祈りします

氏名 年齢 集落
下柳 アキエ 77歳 南松園
富尾 フヂエ 91歳 上柴立
右田 始 79歳 東中郡
有里 忠男 76歳 中 柴立
姥 スエ 89歳 平 石村
釘田 頼子 84歳 馬 場
指宿 チヨ 63歳 西大原

人口のうごき 平成14年12月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,645	1	2	3	0	0
女	1,804	1	3	5	5	△6
計	3,449	2	5	8	5	△6
世帯数	1,450					0

休日在宅当番医

月 日	当 番 医	TEL
12月29日(日)~ 1月3日(金)	肝属郡医師会立病院	22-3111
1月5日(日)	津 崎 医 院	24-2153
1月12日(日)	長 浜 医 院	22-0137
1月13日(祝)	肝属郡医師会立病院	22-3111
1月19日(日)	じょうさいクリニック	24-2977
1月26日(日)	濱 畑 クリニック	25-2575
2月2日(日)	藤 崎 クリニック	22-2238
2月9日(日)	二川 内科胃腸科	22-2033

第41回肝属地区青年団駅伝大会

今年で、第41回になる肝属地区青年団駅伝大会が田代町から吾平町までの11区間22.8kmで開催されます。

県下では、肝属地区のみで実施、継続されているイベントです。駅伝を通じて元気のある青年団を住民の方々へアピールしたいと思いますので、応援の程をよろしくお願いします。

- 大会期日 平成15年1月26日(日)
- 出発時間 午前10時スタート
- 駅伝区間 田代町役場スタート～
県道鹿屋吾平佐多線経由
～吾平町営グラウンドゴール



編集後記

12

■社会福祉協議会「篤志寄附金」
宮原 シツ 様
村山 一徳 様
辺志切 正一郎 様
高田 真知子 様
田畑 一男 様
並松 幸子 様
下柳 昇 様
有里 トミ 様
右田 正 様
釘田 尚 様
田代小 P.T.A 様
辺志切 京子 様
(一般)
(二般)

県民健康プラザ鹿屋医療センターの 外来休診日のお知らせ

鹿屋医療センターは、大隅地区の中核病院として地域が必要とする高度医療・二次救急を担当しています。
重症入院患者さんに対応するために、現在まで火曜日(整形外科)、水曜日(外科・脳神経外科)、木曜日(内科・耳鼻咽喉科)、金曜日(産婦人科)に外来休診しておりますが、小児科及び整形外科の入院が増えてきたため、病棟受入れ体制充実のため、平成15年1月から小児科は水曜日に、整形外科は火曜日に加えて木曜日、外来休診日にすることに致しました。

	月	火	水	木	金
内 科				休診	
外 科			休診		
小 児 科			休診		
放 射 線 科					休診
産 婦 人 科					休診
整 形 外 科		休診		休診	
耳 鼻 咽 喉 科				休診	
脳 神 経 外 科			休診		

新年、明けましておめでとうございませう。本年も「広報たし
ろ」をよろしく願います。
今年の新たな目標は決まりましたか?「一年の計は元旦にあり。」
です。達成できるように頑張ってください。ちなみに私は目標
を決めました。達成できるかは自分のがんばり次第です。
『花火』と言えば、夏の風物詩。夏祭りには欠かせませんが、
冬ではめったに見られませんが、この冬空に若者達が『花火・レ
ーザー』で彩を添えた「サザンナイト・オーロラシネマ2002」
多くの来場者で賑わいました。大成功に若者の結束力が一段と
深まったことでしょう。
1月26日(日)肝属地区青年団の駅伝大会が開催されます。11区
間で、11人がタスキをつなぐ。冬空で分かち合った、結束力を
発揮する絶好の場です。日頃の練習の成果を十分に発揮し頑張
ってください。田代町役場出発ですので、町民の皆様の応援を
よろしく願います。
2003年も皆様にとって、すばらしい年でありますように
お祈りいたします。

次の広報は2月13日(2月号)発行です。

自宅がキャンパス 放送大学

■放送大学は、国によって設置された通信制(テレビ、ラジオ)の正規の大学です。
■平成13年度に大学院が設置され、平成14年度第1学期から学生受入れを開始しました。

【A.教養学部】

1 放送大学の特長

- 入学試験はありません。
- 人文・社会・自然・産業等の幅広い分野の科目(約300科目)の中から学びたい科目を選べます。
- 1科目からでも学べます。
- 自宅で、テレビ等によりマイペースで学習できます。
<授業は、CSデジタル放送【スカイパーフェクTV1/テレビ科目205ch・ラジオ科目500ch】で全国放送中(放送大学は無料放送)>
- 「学士(教養)」の学位がとれます。
- 上位・他教科の教員免許状取得・司書教諭・学芸員・司書・社会教育主事等の資格取得のために必要な単位の一部を修得できます。
- 短期大学・専門学校卒業者の3年次編入ができます。
- 教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座に該当する科目群を開講しています。(企業会計コース・企業経営コース)
- 鹿児島学習センターには、印刷教材(テキスト)や授業を収録したビデオテープ・オーディオテープが揃っています。いつでも見学できます。
- 学習センターは、土曜日・日曜日にも開所しています(月曜日・祝日は休みです。)

学部・コース・専攻・授業内容

学部	コース	専攻	授 業 内 容
教 養 学 部	生活科学	生活と福祉	高齢者の心と身体、母子の健康科学、洗濯と洗剤の科学、食生活をめぐる諸問題、子ども家庭福祉論、年金・医療保険論 など
		発達と教育	心理学入門、フロンティア人間科学、カウンセリング概論、教育心理学通論、児童の臨床心理、人格心理学、道徳教育生徒指導 など
学 部	産業・社会	社会と経済	社会学入門、社会福祉入門、ジェンダーの社会学、民法、法入門、経営学入門、国際政治、国際関係論、経済社会の現代 など
		産業と技術	情報工学、設計学、環境アセスメントネットワーク産業論、プログラミング入門、大地と人間、食・農・環境の未来 など
部	人文・自然	人間の探求	人生の哲学、文化人類学、宗教の哲学、日本語の歴史、アメリカの歴史、文化人類学、英語、中国語、ドイツ語、フランス語 など
		自然の理解	病気の成立と仕組み、地球とその歴史、基礎生物学、人間の生物学、数学基礎論、統計の考え方、パソコンによる解析学 など

年間学習スケジュール

4月入学(第1学期)	10月入学(第2学期)
授業開始前	授業開始前
4月	10月
5月	11月
6月	12月
7月	1月
8月	2月
9月	3月

【お問い合わせ/入学願書(無料)請求先】

放送大学 鹿児島学習センター
〒892-0816 鹿児島市山下町13番1号 (旧鹿児島県警本部庁舎内)
電話 099-239-3811 FAX 099-239-3841
放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp/hp>

学生募集のお知らせ

区 分	平成15年度第1学期
出願受付期間	平成14年12月15日(日)～平成15年2月28日(金)
授 業 開 始	平成15年4月1日

平成14年 主な出来事

○全面改良に向け、着実快適な道路『池野・新田線』

○県中学校音楽コンクール春の祭典

田代中 6年連続金賞・大原中 2年連続金賞受賞
(2月9日)

○大根田一般廃棄物最終処分場落成式(3月20日)

○奥花瀬自然公園休憩施設及び野外飲食施設

『瀬々来樹館』落成式(4月23日)



道路『池野・新田線』



『瀬々来樹館』落成式

○田代剣道スポーツ少年団

『剣聖宮本武蔵顕彰全国大会』準優勝(4月28日～29日)

○ときわ木学園OB会

「小さな運動実行章」を受賞(5月10日)

○でんしろうんめもの会設立(5月14日)

○田代町農業委員改選

【会長坂元安幸氏・会長代理近川正人氏】(7月20日)

○第1回市町村合併住民説明会(7月20日～8月2日)

○田代町商工会設立40周年記念夏祭り(7月24日)

○ALTリチャード・パークマーさん任期終了。

新たにファergus・クリスタルさん着任(7月29日)

○うんめもの会によるふるさと便発送再開(8月9日)

○平岡トキさん(下集落)100歳を祝う(8月15日)

○全国中学校総合体育大会

剣道の部田代中剣道部女子団体・男子個人戦出場(8月19日～21日)

○平石小組合道路愛護で全国

表彰(8月27日)

○第8回全国和牛能力共進会

上久保文夫氏所有

「いちふじ8号」

農林水産大臣賞受賞

(9月26日～9月30日)



表彰を受けた平石小組合



上久保文夫氏所有
「いちふじ8号」

○国民健康保険制度及び老人保険制度一部改正(10月1日)

○第51回県畜産共進会出場

折小野満次氏所有「第9かつこ号」最優秀賞5席(10月10日～10月11日)

○鶴園集落大隅肝属地区消防組合南部消防署長より初期消火に対し表彰(10月25日)

○第2回市町村合併住民説明会(11月12日～11月22日)

○国営肝属南部総合農地開発事業完工式(11月20日)



鶴園集落のみなさん

◆◆叙 勲◆◆

松田進氏(前町長)勲五等雙光旭日章を授与
4月29日
故 右田始氏(元議会議長)正六位に叙する
11月11日